

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜勤専門職員や近隣住民も参加した避難訓練の実施に至っていない。近隣住民の参加を促し、協力体制の構築を考えなければならない	夜勤専門職員、近隣住民の参加を促し、避難訓練を行う。また、近隣住民の協力体制の確認を行う。	夜勤専門職員はダブルワークの方なので、事前にシフト作成の段階で避難訓練の実施予定日を伝えておく。また近隣住民の参加に関して、文書等の配布を行い参加を募る。参加頂いた方々を交え協力体制の確認を行う。	6ヶ月
2	6	身体拘束の中、常に開放した施設という意味に反して、玄関の施錠を行っている。	時間帯を限定しての施錠解除ではなく、常に開放された施設として施錠をしないようにする。	施錠の解除を徐々に時間を長くして、今後は施錠をせず、入居者様も安心する施設とする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。